

2017. 11

(島根県道づくり調整会議)



道づくりだより 第117号



山陰道 多伎・朝山道路
小田第1高架橋（仮称）閉合式にて

-Contents-

1. ICT土工の取り組み（道路建設課）
2. 山陰道 三隅・益田道路 新木部トンネル（仮称）の貫通イベントが開催されました。（高速道路推進課）
3. みすみフェスティバルにおいて高速道路PRブースの出展を行いました。（高速道路推進課）
4. 山陰道 多伎・朝山道路 小田第1高架橋（仮称）の閉合式が開催されました。（高速道路推進課）
5. 山陰道 朝山・大田道路 朝山IC（仮称）ラウンドアバウト走行体験会が開催されました。
（高速道路推進課）
6. 今年も雪の季節がやってきました。（道路維持課）
7. 道路への倒木、枝・雑草の張り出しにご注意ください！（道路維持課）
8. 浜田市弥栄町の林道3路線でイベントが開催されました（浜田県土整備事務所）

ICT 土工の取り組み

道路建設課

全国で ICT(情報通信技術)を活用した建設工事が始まっており、江津市桜江町市山地内に位置する(主)桜江金城線 市山工区においても、ICT 土工による 6,800 m²の盛土工事を行いました。

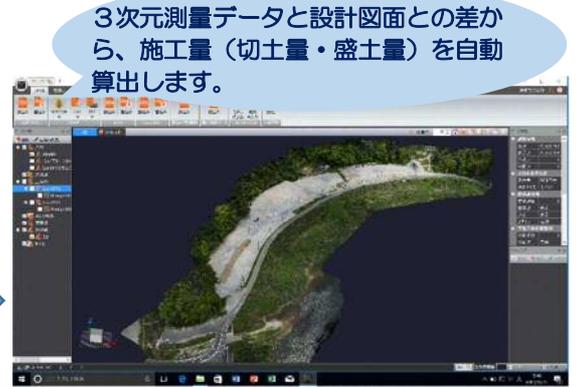
ICT 土工とは、3次元データを使用して土工工事を行うものであり、生産性の向上による現場の省力化や安全性の向上などが期待されています。

ICT 土工の流れ

① 3次元データ化



ドローン測量データと設計図書
を3次元データ化



3次元測量データと設計図面との差から、施工量(切土量・盛土量)を自動算出します。

② 盛土工事 (ICT 土工)

ブルドーザ、振動ローラ、バックホウの位置を自動計測し、機械操作のアシストや自動制御を行います。コントロール状況が作業機械のモニターに表示され、施工や管理が容易になります。



ブルドーザによる敷均

自動制御している状況が表示されます。



振動ローラによる締固め

締固めの管理状況が表示されます。

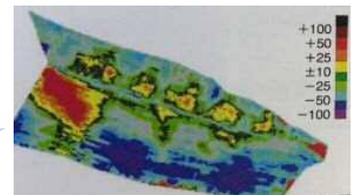


バックホウによる法面整形

機械操作のアシストが表示されます。

③ 検査

3次元設計データと施工後の3次元出来形データを比較し可視化することで、出来型の書類が不要となり、検査の省力化を図ることができます。



設計との差を色で表示

施工した現場代理人の声

測量、丁張作業の省力化や、施工実施において精度の確保と、管理の省力化を図ることが確認できました。初めての試みであり、3次元データの作成や重機の扱いに不慣れで戸惑った点もありましたが、ICT 土工の経験を重ねることで解決できると考えられます。品質管理に当たっては、GNSS(衛星測位システム)の精度が重要であり今後の精度の向上が望まれます。

期待される ICT を活用した建設工事の進展

国土交通省においては、労働力が減少する中、建設現場における生産性を向上させる有効な方策として、土工における各施工プロセスで ICT を全面的に活用する、ICT 活用工事が始まっています。島根県においても、試行的に同様の工事を行っており、道路事業において市山工区の他に6件で ICT 活用工事を実施しています。

今後ますます建設産業従事者や熟練技能者の確保が困難になることが予想される中、建設工事において ICT を活用することは、発注者、受注者双方の現場条件の把握を円滑にし、施工においては現場の作業手順の共有は元より安全対策においても現場内での共通意識をもつことができ、施工の簡易化や効率化さらに安全性の向上が期待できます。

しかしながら、県発注規模の工事において生産性の向上にどれだけ効果があるか不明な点もあることから、今後も試行工事を実施・情報収集を行い、有効性を見極めながら導入を検討する見通しです。

山陰道 三隅・益田道路 ^{しんきべ}新木部トンネル(仮称)の貫通イベントが開催されました。

国土交通省浜田河川国道事務所が工事を進めている山陰道 三隅・益田道路(石見三隅 IC~遠田 IC 延長 15.2km)において、「新木部トンネル(仮称)」が貫通したことから、10月31日(火)に貫通記念イベントが開催されました。

イベントには国土交通省の職員や地元地区の方々など約100人が出席し、神事などが行われたほか、鎌手小学校3年生の皆さんによるトンネル内お絵かき大会も行われました。

地元につくられる山陰道のトンネルが貫通する瞬間に立ち会ったり、お絵かきなどのイベントを通して、地域の方々に山陰道をより身近に感じてもらえたのではないかと思います。

新木部トンネルでは引き続き、トンネル内面を覆うコンクリートなどの工事が進められる予定です。



貫通前の様子



国土交通省職員と鎌手小児童代表が貫通発破スイッチを押します。

新木部トンネル(仮称)の概要
 施工位置: 益田市木部町地内
 延長: 306m
 着工: 平成28年10月
 三隅・益田道路の4本のトンネルの中では、最初の貫通となりました。



大きな発破音がトンネル内に響き、トンネルが貫通。奥から光が差し込みます。



トンネル壁面の防水シートにお絵かき(鎌手小3年生の皆さん)



つばげよう山陰道!
 新着 三隅・益田道路 新木部トンネル
 益田市立鎌手小学校 3年生お絵かきコーナー

みすみフェスティバルにおいて高速道路 PR ブースの出展を行いました。

11月12日(日)に浜田市三隅町の三隅中央公園で開催されたみすみフェスティバルにおいて、高速道路 PR ブースを出展しました。(出展者：島根県西部高速道路利用促進協議会、国土交通省)

高速道路 PR ブースでは、山陰道の工事進捗状況などに関するパネルの展示に加え、フェイスブックを活用した地域の魅力発信イベント「おしえてみすみの超いいね♥」を開催しました。

「おしえてみすみの超いいね♥」では、フェスティバル来場者の皆さんから、三隅のいちおしスポットについて様々なおすすめコメント(超いいね)をいただきました。

いただいた「超いいね」は「つなげよう山陰道 facebook」のページに掲載しております。ぜひご覧になっていただき、高速道路を使って地域のいいところへ出かけてみてください!!



「つなげよう山陰道 facebook」では山陰道の工事状況や関連情報を随時掲載しています。ぜひご覧になってください。(右のQRコードからもアクセスできます。)

山陰道 多伎・朝山道路 小田第1高架橋(仮称)の閉合式が開催されました。

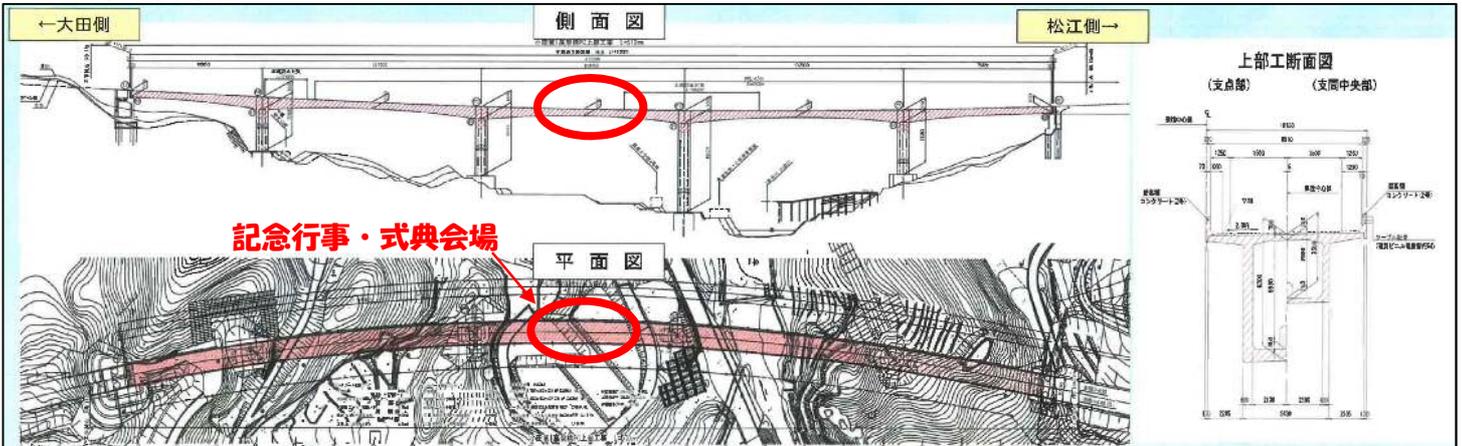
11月21日(火) 出雲市多伎町小田において、小田第1高架橋の閉合式が開催されました。

小田第1高架橋は、平成30年度供用予定の多伎朝山道路(延長9.0km)にある10橋梁のうち最も長い橋長473mの橋梁です。

前日の雨が当日の明け方まで続いたため天候が心配されましたが、皆様の気持ちが通じて午後からは晴天のもと、清々しい閉合式となりました。



○小田第1高架橋

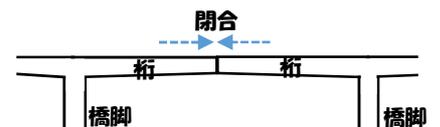


橋上からの眺めが最高!

キララ多伎 キララビーチ

閉合式の「閉合」とは?

橋の両側から架設してきた桁が、橋の中央でつながることです。



秋晴れの中、空気も澄んでいて気分は最高でした。

供用後は素晴らしい景色を楽しめますので、どうぞご期待。

○13:30~14:00 多伎小6年生による、橋面お絵かき大会



橋面お絵かき (多伎小6年生)



橋面お絵かき (多伎小6年生)

生徒の皆さんは本当に丁寧に書かれていたので、制限時間の30分が短い様子です。先生も続く式典の時間が迫って来たので、慌ててカウントダウン、「5分前」、「3分前」・・・焦るあまり「英語のスペルを間違えた!」と嘆く生徒さんもいてワイワイと楽しい雰囲気のお絵かきでした。

○14:00~15:00 閉合式式典



式典 お清め



関係者 集合写真



松江国道事務所長 挨拶



島根県土木部長 祝辞



出雲市多伎支所長 祝辞



島根県土木部長 打込の儀

「エイ・エイ・エイ」のかけ声で、代表者(国・県・市・児童)の手で、最後のコンクリートの打込・締め固めを行いました。



PCコン板

体験ブース内

小学6年生3人が、PCコンクリート板の上で跳ねてもしなりで吸収して、コンクリートは割れません。

平成29年度供用予定！！ 日本初のダブルラウンドアバウト

山陰道 朝山・大田道路 朝山IC(仮称) ラウンドアバウト走行体験会が開催されました

国土交通省松江国道事務所が、12月2日(土)大田運動公園で、今年度開通予定の山陰道朝山・大田道路、朝山ICの出入りに導入されるラウンドアバウトの体験走行会を開催しました。環道※が連続する複雑な形状であり、地域の方に慣れていただく、知っていただくことを目的としたものです。

グラウンドに実際とほぼ同じ形状でラウンドアバウトが再現され、約30組の地元の方がゆっくり確かめるように、指定されたコースを間違えることなく走行されました。体験走行された皆さんからいただいたご意見は、朝山インターの整備に活用されることになっています。

※環道：ラウンドアバウト内の車両が通行する円形の部分



国土交通省松江国道事務所から ラウンドアバウトについての概要説明

環道内は右回り、環道内の車両優先、環道から出るときは左ウィンカーです



体験走行 環道から出ようとする車両



大型車両の走行も行いました



今年も雪の季節がやってきました。

雪への備えは万全ですか？

●冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行

雪道や凍結した道路で立ち往生する車両の多くは、冬用タイヤ未装着が原因です。

冬用タイヤへの交換とタイヤチェーンの準備はお早めに！

なお、タイヤチェーンの装着は、道路沿いにあるチェーン着脱場や待避所など通行に支障のない安全な場所で行ってください。



●お出かけ前の道路状況の確認

お出かけ前には、道路の交通規制や目的地までの道路状況をご確認ください。

◇島根県道路カメラ情報◇

島根冬期

検索

◇島根県道路規制情報◇

島根規制

検索

道路の積雪状況をカメラ映像でチェックできます。
国や隣接県の道路情報にもリンクしています。

道路の通行規制情報がチェックできます。



拡大すると…



※スマートフォン、携帯電話はこちらから
※ブックマーク登録をお願いします。



スマートフォン用Web



携帯電話用Web

島根県観光キャラクターしまねっこ 島観連許諾第2297号

除雪作業へのご協力をお願いします

●路上駐車は絶対にやめましょう

路上駐車は除雪作業の障害となり、多くの人に迷惑がかかります。

●除雪車との車間距離を十分に取ってください

除雪車は車体が大きいので後方の車両が見えづらい場合があります。

また、凍結防止剤を散布する車両に近づくと、粒状の薬剤が接近した車両に当たるおそれがあります。

●玄関先の除雪にご協力ください

除雪車が通った後、やむを得ず玄関先に押された雪が残ることがあります。

玄関先に溜まった雪は、各家庭で除雪をお願いします。

道路の異常をお知らせください！



倒木など道路の異常を見つけたときは、通報アプリ「パトレポしまね」を使って、スマートフォンから写真や位置情報を送って下さい。また、「道と川の相談ダイヤル」でも受け付けています。



レポーター登録はコチラ

「道と川の相談ダイヤル」一覧

地域	電話番号	窓口
松江市	(0852) 32-5200	松江県土整備事務所
安来市	(0854) 32-4149	広瀬土木事業所
雲南市・飯南町	(0854) 42-9601	雲南県土整備事務所
奥出雲町	(0854) 54-1251	仁多土木事業所
出雲市	(0853) 30-5789	出雲県土整備事務所
川本町・美郷町・邑南町	(0855) 72-9630	県央県土整備事務所
大田市	(0854) 84-9720	大田事業所
江津市・浜田市	(0855) 29-5777	浜田県土整備事務所
益田市	(0856) 31-9655	益田県土整備事務所
津和野町・吉賀町	(0856) 72-0511	津和野土木事業所
隠岐の島町	(08512) 2-9737	隠岐支庁県土整備局
西ノ島町・海士町・知夫村	(08514) 7-9111	島前事業部



車の立ち往生による渋滞



倒木・落石

高速道路や国道など主要な幹線道路の情報はこちらでも受け付けています。



！道路への倒木、枝・雑草の張り出しにご注意ください！

道路や歩道への倒木、枝の張り出しにより通行の支障になったり、標識が見えづらくなっている所が多数あります。島根県ではパトロールを行い、そういった危険な箇所がないか確認しています。これが原因で車両や歩行者に事故が発生した時は、原因となった樹木の所有者の責任を問われること（※）があります。またこれからの季節、雪の重みで木が倒れることがあります。樹木の所有者の方は伐採または枝払いをお願いします。

道路利用者の方も、万が一倒木や枝の張り出し等で見通しが悪い場合には、徐行または停止できるようなスピードで走行するなど、安全運転を心がけてください。（※強風や大雨、降雪の後は特に注意してください。）

皆さんが安全に道路を利用できるよう、ご協力をお願いします。



↑雪の重みで木が倒れ、非常に危険です。

※樹木の所有者の責任については、法律で定められています。

- 道路上に倒れたり張り出した樹木の所有者は、その樹木が原因で事故が起こったとき、被害者に対して損害賠償責任を負う場合があります。

民法第717条（土地の工作物の占有者及び所有者の責任）

土地の工作物の設置又は保存に瑕疵があることによって他人に損害を生じたときは、その工作物の占有者は、被害者に対してその損害を賠償する責任を負う。

2 前項の規定は、竹木の栽植又は支持に瑕疵がある場合について準用する。

- 道路を汚したり、土砂や樹木を置くなど、道路の構造や交通の邪魔になるようなことをしてはいけません。

道路法第43条（道路に関する禁止行為）

何人も道路に関し、左に掲げる行為をしてはならない。

- 一 みだりに道路を損傷し、又は汚損すること。
- 二 みだりに道路に土石、竹木等をたい積し、その他道路の構造又は交通に支障を及ぼす虞（おそれ）のある行為をすること。

浜田市弥栄町に健脚集う

浜田市弥栄町の林道3路線でイベントが開催されました

浜田県土整備事務所農林工務部治山・林道第一課

○ イベントの概要

浜田市弥栄町内の林道金城弥栄線、笠松峠線、弥畝線の3路線をコースに含めた「秘境奥島根やさかウルトラマラニック in 浜田 2017」が同町内で初めて開催されました。

1. 主催 秘境奥島根やさかウルトラマラニック実行委員会
2. 開催日 平成29年10月1日(日)
3. 開催場所 スタート・ゴール：ふるさと体験村(林道金城弥栄線沿線)
4. 種目 100kmの部、70kmの部

○ イベントの開催状況

この大会は、参加者にクリーンで長閑な自然環境を堪能してもらいつつ、弥栄の農産加工品等をPRすることで、交流人口の拡大と地域の活性化を図るために開催されました。参加者は、北海道から福岡まで239人が集まり、弥栄の景色と伝統の味を堪能しました。

レースは、朝の5時にふるさと体験村をスタートし、はじめの20kmは林道の3路線や風車の管理道を走り抜け、以下、弥栄町内の市道等を周遊し、ふるさと体験村に戻ってきます。この間、17ヶ所の「エイドポイント」と呼ばれる休憩所が設置され、地元の方が食べ物等を提供しもてなしました。

林道のコース紹介

